

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	公民館	事業No.	303
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			飯田市版総合戦略	
				飯田市教育振興計画	
				飯田市公民館基本方針	
法令・例規等			社会教育法		
			飯田市公民館条例		
事業目的		対象	各地区住民		
		意図	地域資源を生かした学びと交流を深め、郷土に愛着や誇りを感じる機会となる		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)					
	・自然や歴史、文化等の地域資源を学び、交流を深める機会を通じて自身が暮らす地域を知り、郷土愛を育む活動を支援しました。 ・各地区とも、ふるさとウォーキングや郷土を学ぶ講座、料理教室等、住民が参加しやすいように工夫をし実施しました。		<各地区>ふるさと学習・教材作成事業等				460					
				その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	講座等開催数		回	220	260	250	230	220	277			
	述べ参加者人数		人	7,000	12,197	8,000	15,115	7,000	9,004			
1年度決算(千円)	予算額		462	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		460									
	財源の状況	国庫支出金		0								
		県支出金		0								
		地方債		0								
		その他		0								
一般財源		460										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	462	460	公民館事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	・リニア時代を迎える将来、多様性を持ったこの地域の価値に気づく人材の育成が課題となっています。
上記の課題解決のための有効策	・美術博物館や歴史研究所等の社会教育関係機関と連携を図り、学術的な深い学びにより地域の価値を顕在化し、郷土愛の醸成を図ります。 ・リニア時代に向けて、青壮年層への学びを充実します。
次年度に向けての取り組み	・小中学生をはじめ地区住民のさらなるふるさと意識の醸成を目指して、各地区での学級・講座や文化事業を実施します。 ・地域と学校が協働して行うふるさと学習を進めます。